

メロンまつり大盛況

松浦メロンまつり

毎年恒例の「松浦メロンまつり」が5月8日、道の駅松浦海のふるさと館で開催され、キンショーメロンの即売が行われました。

今年も天候に恵まれ、キンショーメロンは玉太りも良く、糖度も16度以上と甘さも上々の出来。市価より安いとあって、市内外から買い物客が大勢詰め掛け、約1,500箱のメロンが飛ぶように売れていました。

また、会場には宅配コーナーも設けられ、新鮮なメロンを遠くの親せきなどに送ろうと長蛇の列ができていました。



母の日に日常を忘れて

婦人ページェント

第5回松浦市婦人ページェントが母の日の5月9日、不老山総合公園で開催されました。

松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が、家事に追われる日常を抜け出し、会員同士が交流を深めながら楽しむことができるようにと毎年開催しています。この日は、約140人が参加。グラウンドゴルフやがんばらんば体操、輪投げなどを行い、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



福島椿油の化粧品を発売

ホープステーションの「ふくしま椿油」

福島町の障害者授産施設ホープステーション（社会福祉法人夢追会 松田博理事長）で製造されている「ふくしま椿油」販売発表が5月7日、同施設で行われました。

「ふくしま椿油」は、ツバキの実を蒸した後、機械で搾って、和紙を使ってろ過した椿油のみを使用。県から化粧品製造、販売の許可を受け、5月8日から50cc入りを1,000円で販売しています。

佐世保市下京町にある福祉施設の製品などを販売している「ショップ&カフェみつば」で販売されているほか、近く開設予定の同施設のホームページ内で販売される予定です。



各種目で大活躍！

第7回長崎県ねんりんピック

第7回長崎県ねんりんピックが5月8日、諫早市の県立総合運動公園を主会場に開催されました。

本市からゲートボールやグラウンドゴルフなど6種目に46人が出場し、各種目で熱戦を繰り広げました。

本市選手の上位成績は次の通りです（敬称略）。

【水泳（個人）】

○75歳以上の25m自由形 3位 和田照子

○65歳以上の50m自由形 2位 綾部範子

○65歳以上の

50m背泳ぎ

2位 綾部範子

○70歳以上の

25mバタフライ

2位 網本道子

【わのわリング】

3位 星老会B

【長寿激励賞（70歳）】

正原スエ子

（弓道・個人種目）



安全・安心な暮らしのために

平成21年度「長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり」地域賞を受賞

Interview

川原 純じゆんいち さん

平成21年度上志佐地区防犯協会会長

上志佐地区防犯協会（松浦地区連合防犯協会上志佐支部）が4月13日、「長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり」地域賞を受賞しました。

この賞は、自主防犯活動の取り組みの活性化と地域連帯感を醸成することを目的として、地域（自治会など）単位で「長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり宣言」を募集。活動の優秀な地域を具が表彰するものです。同協会は、青色回転灯装備車両による防犯巡回パトロールや地域内の環境美化活動などが、安全・安心まちづくりに寄与するとして表彰されたものです。



LOSE UP!
まっすら 輝キラリ人

Q 受賞された感想をお聞かせください？

A 防犯協会会員と地域のみんなが協力して、安全・安心な暮らしのために活動してきたことが評価され、うれしく思います。

Q 特に力を入れたところはどこですか？

A 子どもが安全で安心して登下校できるよう、地域で手が空いている人が、屋外に出て登下校する子どもたちを見守る活動などに力を入れました。

また、児童自身の防犯意識の高揚と住みよいまちづくりを目指し、上志佐小学校児童を対象として「地域安全標語」の募集・表彰を行いました。

Q そのほか防犯のためどういった取り組みを実施されていますか？

A 犯罪を起こさせない環境づくりが重要なので、PTAなどと連携して地域や家庭でのあいさつ運動、環境美化活動を実施しています。

また、青色回転灯装備車両による防犯巡回パトロールや県内一斉防犯パトロールを行うなど、地域の防犯パトロールにも力を入れています。

Q 今後の活動の目標は？

A 安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、地域ぐるみで犯罪のない安全・安心まちづくりの活動を今後も続けていきたいと思っています。

◎ PROFILE

川原 純一 さん
(志佐・柚木川内、57)

農業を営む。平成19年度から21年度まで松浦地区連合防犯協会上志佐支部長を務める。

